

日刊 勤労千葉

85. 1. 22
No. 1844

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二（22）七二〇七



勤労千葉に期待する
旗を掲げよう



の真只中、とりわけ国鉄労働運動つぶしの攻撃に対し、これに勝つか負けるかは日本の労働運動の未来を決する重大な闘いです。県労連も大きく包んで共に闘っていきなさい。中曽根の反動攻勢をはねかえし、八五春闘の再構築をかけて共に闘いましょう。

勤労千葉推せん議員団（含・檄電）

（衆） 新村勝雄氏、小川国彦氏、
（参） 赤桐操氏、糸久八重子氏、
（県議）市川福平氏、高橋正八郎氏、
小岩井清氏

（市議）中江昌夫氏、中堀君子氏、
佐藤けんじ氏、大久保せつ子氏

および、日本社会党千葉
県本部代表・県会議員
松本正二氏



85年決戦勝利〜

この八五年は、国鉄の「分割・民営」化問題が最大の焦点となる。この八五年の闘いをどのようにおし進めていくかが、日本の今後の労働運動の方向をきめるといふ重大な、労働者全体の問題―分水嶺をなす闘いだ。敵しいと思うが、牛のようにはねばり強く、皆さんの力で突破口をきりひらいていってほしい。

勝利争闘！ ジェット塚三里

三里塚芝山連合空港反対同盟
小川嘉吉氏、笹川己三夫氏
島村初枝氏、宮本満子氏
伊藤しのぶ氏、宮本衛氏
代表して事務局長・北原 敏 治 氏

！ 砕粉革行・調臨

昨年、三里塚は激突の日々闘いの連続だった。勤労千葉を先頭とした全国の労働者・住民の力で成田用水と闘い、用地内に手をつけさせないという勝利をもつて八五年を迎えた。だが、八五年こそは、決戦の正念場である。同時に、十万人の首切りを含む国鉄攻撃もこの六・七月山場を迎える。正義を貫く闘いだ。勤労千葉の闘いは全国の労働者を牽引する。三里塚に勝利することが、全国の全ゆる闘いの大きな勝利につながることを確信している。昨年十一月、東峰裁判でデッチあげの不当重罪攻撃がかけられてきたが、断じて許せない。来たる「3・24」には、勤労千葉を先頭とした全国の労働者の大結集を訴えたい。共に闘おう。



千葉県労連議長
井原完輔氏

常日頃、県労連の先頭を担って精力的な活動を続けられている勤労千葉の皆さん方に県労連を代表して感謝とお祝のあいさつをいたします。臨調・行革攻撃



全関西実行委員会代表、
淡路町関西新空港反対
期成同盟
永井 満 氏

今年のはかけ値なしの決戦の年です。しかし、あの勤労「本部」革マルから組織をかけて一歩も退かず闘い勝利した勤労千葉、ジェット燃料貨車輸送阻止で5日間の単独のストを貫き通した勤労千葉、正義をまげず闘わなければならないときに敢然と闘い、そして闘えば必ず勝ってきた勤労千葉が、この八五年の闘いにおいても必ずや勝利をもぎとって、国鉄・三里塚のみならず、中曽根の反動と闘いたいと願っている全日本の人民の闘いの勝利の突破口をきりひらいていくことを信じます。私たち住民も本当に熱いままざしであなた方の闘いを注目しています。敵しいけど勇敢に闘って下さい。そして、闘えば必ず血路をひらき勝利できるんだということ全国の労働者・人民の前に



東京実行委員会
世話人 杉並区議
長谷川 英 憲 氏

年頭から中曽根がアメリカに飛びレীগンと会談し、日本の責任において世界支配の一端を担う、宇宙戦争兵器開発に同意するといふ、今までにない反動的な本質をあらわにしてきた。「戦後政治の総決算」をかかげた中曽根の侵略と戦争の政治に真向から対決する三里塚、また一方の重要な柱である臨調的国鉄で八五年は決戦となった。八五年は、三里塚と国鉄を軸に全ての人々がこの中曽根と断固実力で対決するものとして、すでに新年冒頭より激しく闘いが開始されている。私は区議十八年間の闘いの教訓を生かし、この中曽根をうち倒すために首都のド真中に「三里塚―国鉄決戦」の闘いを大胆にもちこみ、日本の運動の主流派たるべく既成の政党のワクをうち破って東京都議会議員選挙にうってでることを決意した。三里塚二期阻止―国鉄決戦勝利―中曽根打倒へ、飛躍をかけて、共に決起しよう。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！